



### 「もっと良くなりたい！」～子どもたちの願いを形に～

「もっとかしくなりたい」、「できるようにになりたい」、「お兄さんやお姉さんのようになりたい」「先生に褒められたい…」など、誰かに認められたいという気持ちや、自分の良さを認めたい、確かめたいという



気持ちは、子どもたち誰もが抱く【当たり前】感情です。そんな子どもたちの願いを形にした取組を紹介します。2年生以上の教室に、左のようなポスターが掲示されました。これは、1年生の「計算カードの練習の時間を縮めたい。」という願いから、上級生のおにいさんおねえさんに、練習の協力を依頼するものです。これまで、地域の方に毎年11月頃、計算カードの練習のお手伝いをいただいています。今回は、計算カードをさらにレベルアップするために、子どもたちの「伸びたい」「よくなりたい」という願いを、1年生担任が形にしました。



練習時間は、「20分休み」という、子どもたちにとっては【貴重な休み時間】です。それを1年生のために時間を割き、それぞれのやり方で、マンツーマンでサポートしてくれています。一緒に計算しながら見守る2年生、ひざまづいて見守る4年生、「ぼくの時より早い！」とほめちぎる5年生、具体物を見せながら教える6年生。1年生はおにいさん、おねえさんにほめられ、認められることで意欲や自己肯定感を高めています。上級生も、1年生をサポートする中で、「自分も役に立てる」という【自己効力感】を育むきっかけとなっています。このようにして、学校教育目標「**自分の力で自分の願いを叶える子の育成**」を進めています。